

まいる互版

<連絡先>

☆居宅介護支援事業所

0859-72-2723

☆訪問看護ステーション

0859-72-2706

『6ヶ月間ありがとうございました』



4月から派遣職員として訪問看護ステーションに勤務し、あっという間に半年が経ちました。私にとって、のどかな自然あふれる日野地域はとても心地がよく、毎日活き活きと仕事に励むことができました。

患者様の退院後も安心して安全な生活が送れ、その人らしく住み慣れた家での平穏な日常を支える日野病院。そこを基盤とした地域医療や訪問看護を経験し私自身看護師として大きな学びを得ることができました。退院から、在宅療養への移行が円滑になされるための病院との連携や多職種におけるサービス内容の調整や看護の質の向上についてなど、現状の課題に対して更に取り組んでいく必要性を実感しました。

この度、丁寧なご指導と心温かい配慮を頂きました関係者の皆さま、ご利用者、ご家族の皆さま心からお礼申し上げます。

この度、丁寧なご指導と心温かい配慮を頂きました関係者の皆さま、ご利用者、ご家族の皆さま心からお礼申し上げます。



訪問看護ステーション看護師
瀬尾 勇仁

～おむつフitter研修に参加して～

◇主催：はいせつ総合研究所むつき庵

おむつフitterとは、排泄用具の情報館むつき庵が認定する資格で、排泄にまつわる不快を解決する専門職として注目されています。

研修では排泄という行為がいかにデリケートであるかということや、おむつの使用方法により生じる弊害について改めて学び直すことができました。

排泄に支援が必要な状態であっても、病状や排泄パターンだけではなく、生活環境、さらにその方の人生そのものを捉えていくことで、自分らしい生活を実現することができます。

不快感のない排泄のためには、十分な情報収集をした上で、多数の福祉用具や排泄用品をよりよく理解して、多くの職種で連携していくことが望めます。

今後も、今回の研修で得られた理念やさらに新しい情報収集を図りつつ、快適に生活していくための情報をご紹介しますと思います。

ケアマネージャー 緒形 崇子



数十種類の紙パンツやパッドのほか、多数の福祉用具が展示され、一人一人の要望に応じた支援が検討されるむつき庵。おむつフitter 2級を取得すれば各地でミニむつき庵の開設が認められる。

* ご報告 *

平成29年度 訪問リハビリ満足度アンケート調査結果について

- ・調査期間：平成30年3月～4月
- ・目的：利用者様の満足度把握と質の向上
- ・回答数：40枚 ・配布数：80枚
- ・アンケート結果では、訪問リハビリ回数、時間、内容、接遇など各設問に対し概ね高評価を頂きました。

自由記載としては、「心の健康に大変役立っています」「週1回で言語聴覚士のリハビリを受けています。“食”が一番大切なことです。」など温かいお言葉を頂きました。今後も、訪問リハビリサービスの質の向上に努めてまいります。貴重なご意見を多数いただきありがとうございました。

訪問リハビリスタッフ一同

